

年 組 名前 :

問1

甲州市が、自然環境に負荷をかけないエネルギーの普及を目指し、発電効果の実証実験を行う方針を固めた3種類の自然エネルギーは何ですか。書いてください。

「 」
「 」
「 」

問2

「甲州市は昨年の12月定例会議で、
①年までに②の排出実績ゼロを目指す③宣言を採択しました」。

①～③に入る数字や言葉は何ですか。

① 「 」
② 「 」
③ 「 」

問3

二酸化炭素などの排出を減らすため、行政や企業などとは別に、私たち一人一人ができることは何だと思いませんか。いくつか挙げてください。

.....
.....
.....
.....

自然エネ発電へ実験

甲州市方針 脱炭素めざす

甲州市は自然環境に負荷をかけないエネルギーの普及を目指し、太陽光、水素、磁力の発電効果を調査する実証実験を行う方針を固めた。本年度中の開始を目指し、事業者と協議を行っている。

市環境政策課によると、市は昨年の12月定例会議で、2050年までに二酸化炭素排出実績ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を採択。世界的に気候変動への対応が迫られる中、市の公共施設や一般家庭に自然エネルギーを広めるため、独自に実証実験を行うこととした。

実験は一般家庭でも取り入れやすい太陽光発電、天候に左右されず災害時の非常電源としても活用可能な水素発電と磁力発電の三つで行う。

実証実験会場は、市内の公共施設を想定。会場に発電機器を整備し、設備を導入する経費と発電量のバランス、公共施設や一般家庭への普及の可能性、災害時の非常電源としての有用性などを検証する。現在は2事業者と設備費用などの協議を行っていて、本年度中に実験を始めたたいとしている。

市環境政策課の担当者は、「気候変動を防ぐためには、いかに自然エネルギーを生み出すかが重要。市独自で積極的に取り組むことで二酸化炭素ゼロ社会につなげたい」と話している。

(2021年7月3日付 山梨日日新聞 25面)